

西多摩医師会報

第197号 平成元年5月



福生寺観音堂 瑞穂町

目 次

	頁		頁
1. 昭和63年度定時総会開催	2	7. ブロックだより	
2. 講演会の開催について	3	瑞穂町医師会	12
3. 平成元年度各部事業計画	4	羽村町医師会	12
4. 理事会報告 総務部	5	8. 同好会だより	
5. 税制講習会 大嶽栄二	7	西医ゴルフ大会 足立卓三	12
6. 文芸		9. 医師会日誌	13
じ主日記 堤 次雄	10	10. お知らせ	14
卯月雑詠 小泉新策	11	11. あとがき	15

昭和63年度定時総会開催

平成元年3月26日(土)午後2時より昭和63年度西多摩医師会定時総会が、西多摩医師会館講堂において開催された。足立卓三総務部長の司会で議長団(後藤伸議長、土田守一副議長、波田野洋夫副議長)登壇、資格診査の結果、会員総数298名中委任状を含めて210名の出席があり、総会成立が議長より宣言された。

議事に先だち、物故会員に対する一分間の黙禱が行われた。63年度には7月10日小川隆先生、9月5日進藤利定先生、10月8日井上富美先生、12月6日島崎省吾先生が逝去された。

○西村邦康会長開会挨拶(要旨)

本日は週末おいそがしいところ昭和63年度定時総会に御出席いただき有難うございます。

昨年度は地域医療策定ということで医師会としては振廻された感が致します。幸い私達が主張していたような西多摩地域医療計画の案に沿った形の保健医療計画が公示され、西多摩の地域医療を担う者としては大変満足致しております。但し市町村側としては、その保健医療計画の中に問題があるようです。老人病院の病床を何故1床としてカウントしたのか、実際には一般病床が不足しているではないかという意見もある。保健医療計画については、地域医療委員会の方々に、大変ご苦労をいただきました。大変感謝致しております。又昨年度は医師会の活性化と申しますか、充実化を考えて、現在の状態に即応した定款施行細則に改正したらどうかということで、定款施行細則見直し検討委員会を設置し、委員会の方々に、ご苦労願って答申をいただきました。答申の内容については若干抽象的なところもあり、受けた側にも多少戸惑ったところもありましたが、委員会の言わんとするところは或程度わかっておりましたので先般理事会の承認を受け、各市町村医師会に参りました。各地域の医師会の抱えている問題点、今后この様にしたらとの提言を含めて定款についてのお話を伺いました。それぞれの医師

会共、それぞれの気風があり、同じ西多摩であっても、それぞれの発想の仕方、議決の方法も違い各地に地域の特性があるのだということがわかり大変勉強を致しました。これらのことを参考にして医師会運営に留意していきたいと考えております。

来年度の計画について申し述べますと総論的には、地域保健医療計画にもとづいて、具体的な問題について検討していきたいと考えております。病診連携、病院連携については、確かりしたネットワーク作りをしたい。休日夜間診療、救急診療の問題等は今年10月より土曜日の夜間診療の問題も出てきているので、医師会内部としても充分討議して対処したい。看護婦のマンパワーの問題も又重大な問題である。これらの事柄については地域医療委員会或は、救急休日診療委員会等に諮問し万全を期していきたいと考えております。特にマンパワーの問題については、自治体の賛同を得ながら推進協の場において青梅看護専門学校についても充分討議していきたいと考えております。東京都医師会においては、役員改選が行われ、新しい形で新しいスタッフが出てくるのではないかと期待しているし、又そうでなくてはならぬと考えております。西多摩医師会においても時代に即応したということで、何らかの形で展望していくことが必要だと考えております。簡単ではありますがご挨拶と致します。議題については慎重ご審議をお願い致し、ご承認をいただきたくお願い申し上げます。

議事

1. 議事録署名人名指名 江本虎雄会員
木野村幸彦会員

2 報告事項

昭和63年度各部事業報告 各部長
(質問) 堀田洋夫会員

11月16日推進協で大門診療所の件について協議が行われているがその内容につ

いて具体的に。

(回答) 西村邦康会長

細かい資料については手元がないが、
 昨年2月か3月に推進協の場で行政側から大門移転について問題提起があり、我々も充分に問題について検討しようということになった。11月に正式議題となった。細かい経緯については医師会報に載せてある。今回の推進協では行政側が改築移転したい。医師会側は、我々も理事会において話し合いをしており、地元青梅医師会で検討し結論が出れば、我々がそれに従っていくということで、推進協で話をしたように記憶している。

3 審議案件

(1) 第1号議案

平成元年度事業計画案につき承認を
 求める件 各部長

— 全員承認 —

(2) 第2号議案

平成元年度収支予算案につき承認を
 求める件 大嶽栄二経理部長

— 全員承認 —

(質問) 堀田洋夫会員

大門診療所の問題は、単に1青梅地区ということだけでなく、西多摩全体として考えるべき問題であろう。大門診療所を西

多摩医師会の組織の中で、全体としてどう位置付けるのか検討する場が必要である。

(回答) 西村邦康会長

ご指摘の点については、理事会の中で、問題点があれば今後検討して処理していきたい。休日夜間救急体系の問題についても再検討していく時期が来ているので、大門診療所の問題を含めて一次救急の在り方、休日夜間診療の問題について、救急休日診療委員会、地域医療委員会で正式に議題提起して、より良い形で救急医療が行われるようやっていきたい。4月の理事会で計りたいと思っている。

4 東京都医師会代議員、同予備代議員選挙

代議員 西村邦康先生、大塚 渉先生

予備代議員 松原貞一先生

中村 武先生

後藤伸議長は定款施行細則第57条及58条3項により、以上の4先生を当選人と決定した旨議場に報告した。

— 以上で議事終了 —

大塚渉副会長より閉会挨拶があり、定時総会は終了し議長団は降壇した。

(文責：大嶽栄二)

講演会の開催について

この度 市民の皆様をお招きして、下記の通り 田辺市長さんに、ご講演をいただくことになりました。どうか万障繰り合わせ、多数ご出席下さいます様 ご案内致します。

記

日 時 5月20日(土) PM 5:00
 場 所 青梅市西分町3-103
 西多摩医師会館講堂 Tel 0428-23-2171(代)
 演 題 「日本の蘭法とシーボルトについて」
 講 師 青梅市長 田 辺 栄 吉 先生
 主催 西多摩医師会

平成元年度各部事業計画

社団法人 西多摩医師会

〔総務部〕

1. 定時総会を年1回開催し、必要に応じて臨時総会を開催する。
2. 理事会を開催する。
3. 会務執行状況に関する伝達及び連絡を行う。
4. 医師会館の管理、運営及び職員人事に関する事務を行う。
5. 各種委員会の連絡、調整に協力し、各部に属さない事務を行う。
6. 本年度も各種委員会委員の懇親会、或はそれに類するような会合を開催したい。

〔広報部〕

1. 西多摩医師会報月1回定期発行。
63年度と同様に各編集委員は毎月全員で編集に当る。
2. 地域の住民や行政に関する情報の収集。
3. 医師会員対象の調査活動。
4. 三多摩地区医師会広報担当理事連絡協議会、三多摩医師会広報研究会、調査担当理事協議会などに出席し、他地区医師会の広報調査部門との連携、情報の収集伝達を行う。

〔学術部〕

1. 学術講演会は昭和63年度と同じく毎月1回程度のペースで開催する予定である。
2. 一般向の講演会は年に1～2回開催したい希望である。(現在未定)
3. 講演会の出席率を高めるために、学術部員は率先して出席することを決定した。
4. 会員の希望する演題にするため、アンケート調査を実施する。

〔保険部〕

1. 保険指導整備会は国保のレセプト提出日に定期的に開催すること。又指導整備上の諸問題については、十分に検討し円滑な解決をはかるものとする。

2. 診療報酬改訂時や、その他諸法改訂時適宜疑問点につき都医保険担当理事や技官による講習会を開催し、円滑な請求業務を推進する。

〔福祉部〕

1. 西多摩医師会員の福祉と親睦を図るための事業を行う。
2. 医療過誤、医事紛争に関する事項の検討と会員向の講演会を行う。
3. 税務講習会を行う。今年度は新しく消費税の導入もあり、会員に新税の理解をしてもらおうべく講習会を行いたいと思います。
4. 平成2年の賀詞交換会を行う。

〔公衆衛生部〕

1. 老健法関係
子宮癌検診では頸部癌検診に加えて、体部癌検診を実施する予定です。
2. 在宅難病患者訪問診療事業は昨年度は研究のみに留まったが、本年度は当地区で実施に入る予定。
3. 予防接種は一部の接種を除いて個別接種になります。当地区の個別接種体制づくりを検討します。

〔学校医部〕

1. 西多摩学校保健連絡協議会について
本年度は青梅市、奥多摩町の幹事が主催する予定。
学校保健のより一層の充実発展を期すべく、十分な意見交換、検討の場として推し進めたい。
2. 各市町村毎の学校保健連絡協議会の開催を推進する。
各地区学校医のご理解とご協力をお願いしたい。
3. 学校保健会の開催を推進する。
家庭や社会とも連携をはかるため、各地

- 区毎になるべく会の開催を推進したい。
- 4. 学校検診及び事後管理のあり方について眼科、耳鼻科検診も含めて検討を加えていきたい。
- 5. 他部との協力
公衆衛生部、学術部等と協力して医師会事業の発展に尽くす。

【産業医部】

- 1. 地区内の産業医名簿を作成する。
- 2. テクノストレス等メンタルヘルズに重点をおく。

- 3. 中高年者のヘルスケアを推進する。
- 4. 「改正労働安全衛生法」の周知をはかる。

【経理部】

- 1. 本会の運営と各部の事業の遂行に支障のないように留意し、適正な会計処理を行う。会費等の資金の受託を明らかにし、経理事務の万全を期する。
- 2. 予算執行状況ならびに予算管理に努め、効率的な資金の運用をはかる。
- 3. 次年度予算の編成に際しては、各部の実績を踏まえ適切な配分を行う。



理事会報告

3月定例理事会

平成元年 3月22日(水) P.M 7:30

西多摩医師会館講堂

議事録署名人 { 野村理事
大嶽理事

1 報告事項

(1) 都医地区医師会長協議会報告

西村会長

- 1. 第194回(定時)代議員会結果について
- 2. 三者協議会決定事項について
予防接種の料金
{ 来年から三混ワクチンを個別接種とする。
- 3. 東京都保健医療計画の公示について
2月20日東京都医療審議会より東京都保健医療計画原案について、6項目の意見が添えられて、適当であるとの答申が行われた。

この原案に対する区市町村の意見が発表されているが以下が西多摩自治体よりの意見のようである。

(1) 過剰圏域であっても地域の医療特性に応じて地域医療体制を整備するため必要である場合等についての特別の配慮。

(2) 多摩地域の老人精神病床偏在の是正。

(3) 西多摩地域の伝染病床統廃合計画に伴う転床による一般病床の増床に対する配慮。

4. 消費税関連の点数改正について。

5. 「大喪の礼」当日の医療救護活動について。

(2) 三多摩ブロック地区医師会長協議会報告
西村会長

(3) 東京都医師会定時代議員、定時総会報告
大塚副会長

(4) 地区医師会生涯教育担当理事連絡会報告
松原副会長

3月15日都医師会で行われた。昨年度の全国的の申告率は64.2%であった。日本医師会で決めている年間学習時間は50時間以上であるが、申告された人の平均学習時間は平均227時間であった。申告の用紙は日医雑誌3月15日号に綴られている。4月15日迄に地区医師会に提出してもらおうが、今回は住所と、昨年の終了証の番号も記載する。

申告率では、東京都はワースト5で49.6%、西多摩はA会員で45.4%、B会員を含めて37.8%となっている。申告率の良いところでは保谷100%、三鷹97.8%、多摩市86.9%となっている。将来家庭医、専門医、認定医の制度が発足した場合、必ず必要となると考えられるので申告をして下さい。

(6)

(5) 入退会会員 — 承認 —

2 協議事項

(1) 平成元年度学校医、園医の推薦について 湯川理事

(2) MMR予防接種について

医療協決定事項

1. 接種開始 平成元年 4月 1日
2. 開始年令 18ヶ月
3. 単 価 ワクチン代 4,933円
接 種 料 5,047円
予 診 の み 2,163円
4. ワクチン配布については、地域の行政と、医師会の話し合いに任せる。
5. 問診票は自治体に任せる。

— 承認 —

(3) 昭和63年度定時総会全般について 足立理事
— 承認 —
(総務部)

4 月定例理事会

平成元年 4月10日(月) P.M 7:30
西多摩医師会館講堂

議事録署名人 { 眞鍋理事
林 理事

1 報告事項

(1) 管内保健所担当との在宅難病患者訪問診療事業懇談会報告 林 理事
3月24日(金)福生市(幸楽園)において、本年度より始まる在宅難病患者訪問診療事業促進会ということで、保健所側より三保健所の予防課長、保健婦等24名、医師会側より西村会長、松原副会長、公衆衛生委員、主治医、計10名が出席し訪問診療事業が円滑に行われるよう種々懇談を行った。尚これに関連することで、林理事より昨年度の特殊疾病に関する東京都委託研究費会計報告が行われた。

(2) 学術部委員会報告 眞鍋理事
3月31日福生市「久保田」において学術部委員会が行われた。テーマは今年度の講演会の内容についてであり、本年2月に行ったアンケート調査の結果に基づき、これを参考として検討した。対象300名、

回収率23.3%であった。本年度は一般講演を2回予定している。1回目は5月20日(土)5時西多摩医師会館講堂において、講師に田辺青梅市長をお招きし、「日本の蘭方とシーボルト」の演題で講演会を予定している。

(3) 地区医師会税務担当理事連絡会報告 唐橋理事

4月7日都医師会館において行われた。議題は消費税に関する問題と租税特別措置法第26条の5段階税制の一部改廃の問題についてであった。消費税の問題では、会員が電話で大蔵省に直接問合せを行う事例があるようだが、それはやらないで貰いたい。又便乗値上げをしないように。医師会としては、ポスターは作らない。原則としては内税方式をとる。保険収入5000万円以上の人で、減点されて4000万円台になった場合は特別措置が受けられる。この場合は修正申告をするようにする。1人医療法人については現在それを選択する医療機関は少い。今年の秋になったら当局と折衝して手直しをし、簡単に1人医療法人になれるようにする予定である。

(4) 報告承認事項

- 入退会会員 — 承認 —
- 保健所保健事業連絡協議会委員及び東京労働保険医療協会評議員推薦について

1 各保健所保健事業連絡協議会委員
(任期平成元年 4月1日~同 3年3月31日)
(敬称略)

保健所名	推薦委員名
青梅保健所	足立 卓三(再任)
	唐橋 善雄()
	川辺 隆道()
福生保健所	西村 邦康(再任)
	松原 貞一()
	大塚 栄二()
五日市保健所	大塚 涉(再任)
	湯川 文朗()
	栗原 琢磨()
	今川 武()

— 承認 —

2 東京労働保険医療協会評議員

(任期平成元年4月1日～同2年3月31日)

推薦者氏名 高木 直先生(再任)

— 承認 —

- (5) 都医師会の役員改選が行われる。立候補希望者は4月18日迄に届出をするように。

正副会長は勇退される。 西村会長

2 協議事項

- (1) 4月、5月の日程について

— 承認 —

- (2) 都医師会よりの連絡事項である平成元年10月より医師会への委託事業として実施される予定の、土曜日の夜間診療(5時より翌朝9時まで)について。

7月理事会に答申をいただけるよう救急休日診療委員会及び地域医療委員会に諮問する。

— 承認 —

- (3) 羽村町に開院予定の耳鼻咽喉科医院の医師会入会に関する取扱いについて。

多くの意見が出されたが、主なものを挙げてみると、余りにも近接して開業するのは非常識である。医師会として何らかの指導を行うべきである。西多摩医師会入会は認めても、市町村医師会への入会は認めない。医師会入会を暫時延期させる。医師会への入会を積極的に行わせ、会内で秩序を保った仕事をしてもらう。西多摩地区内で開院する際には事前に医師会へ相談してもらう。

開院にあたり、余りに非常識な状態で行えば医師会へは入れてくれないというようなことを対外的にもPRすることも必要。

等々の意見が出されたが、羽村町医師会内で話し合ってもらおう。

- (4) MMRワクチン接種料について

林 理事
(総務部)

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMN

税制講習会

本年1月1日より社会保険診療報酬の所得計算の特例即ち、5段階制が改廃され、更に4月1日より消費税の実施が決定しているこの時期を前にして、3月28日(火)PM1:30より西多摩医師会館講堂において、西多摩医師会福祉部、西多摩青申会医師会支部の共催で、本年初の税制講習会が開催された。講師として青梅税務署より2人の係官をお招きした。演題と講師は、

1. 消費税について

青梅税務署間接税部門 門脇静雄統括官

2. 社会保険診療報酬改正に伴う所得計算について

青梅税務署所得第二部門

八木平雄統括官

消費税については、医療と消費税その仕組みと取扱い(厚生省健康政策局)及び消費税のあらまし(国税庁)をテキストにして門脇

統括官より懇切丁寧なお話があった。消費税は単純そうでありながら、かなり複雑難解な仕組みになっているのに今更乍ら驚かされる。統括官よりも解らないことがあったら、税務署に気楽に相談してくれる様にと強調された。

続いて八木統括官よりは、帳簿の記載等について話をする予定であったが、確定申告も終わったばかりなので、他の事柄でお話しをするとの前置きがあり、税務署で行っている税務調査の際にみられる不正事例について話された。

これらの事例を話すのは、不正をすすめるのではなく、「この様なことをしても税務署には直ぐに解りますよ」ということで話をするのであるとユーモアたっぷりに話をされた。

以下講演の主だったものについて記述していく。

日計表を作製しなかったり、伝票を改竄したりレジスターを打ち直したりするケースがある。これらは作為的な行為と看做し35%の重加算税が付価される。自由診療関係の収入をカルテを作製しないで除外、又作製しても過少申告をするケースが目につく。外来収入の例としては、夜間診療、休日診療の収入を除外したり、診断書又は証明書等の文書作製収入を除外するケースもある。入院収入の例としては、特別室のベット差額、付添いの食事代、貸布団の収入除外、又ときに小切手、銀行振込みの収入を漏らすことがあるので注意。外科関係では労災保険の申告漏れは最近は無くなったが、過去にはあった。松葉仗、補助器具の収入除外。産科婦人科関係では、出産の際の入院料、処置料の過少申告。中絶の際の初診料、検査料、手術料の一部除外、又は過少申告。全般的なこととしては、保険診療収入が除外されていることもある。又窓口収入の過少申告による修正も数多くある。12月末の時点での未収入金の計上漏れも結構ある。

経費の面で問題なのは、架空人件費（特に中途退職者）の問題である。俵い関係では、白紙領収書を貰い自分で記入する。又は自分で架空のゴム印を作り業者より仕入れた如くみせる。又領収書の金額を改竄し経費の水増しをはかる人もあるが、数字の改竄は何枚かの領収書を見れば、大体解るものである。間違え易い経費について述べよう。租税公課については、経費になるものと、ならぬものがある。

所得税、住民税、重加算税、地方税付加金等は経費とならぬ。事業税、固定資産税、自動車税は、事業に関係あるものについては、按分して経費として落とせる。専従者給与については、税制改革后、これに上乘せしてくるケースが考えられる。今迄調査してみると、その実体がないのに専従者給与を支払っているケースを見受ける。この中には、嫁に行った娘、退職者等がある。又専従者の届出をしていない人についても取っているケースもある。

従業員に比して家族の人に高額な給与を支

払っている場合が多い。

税務署としては今后これらの給与の見直しを行っていくことにしている。

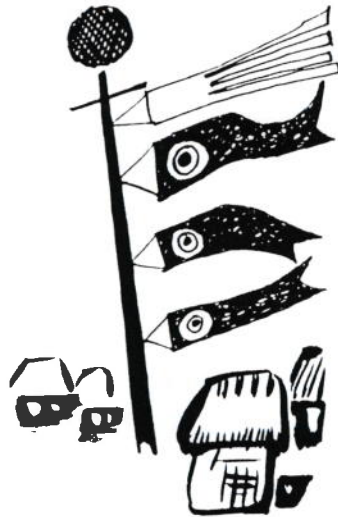
最後に税務調査の対象を決める場合は決算書を見て主要項目の内容をチェックすることから始めると話された。又通報により決めることもあるので留意するようにとも話された。

白色申告者は59年より300万以上の収入の人は記帳の義務が発生した専従者給与の問題もあり、青色申告にしようおすすめしたい。

最後に西村医師会長よりお礼の言葉が述べられ、福祉部大嶽司会による税制講習会は終了した。

稿を終るにあたり、年度末お忙しいところ、わざわざお出で下さった税務署の門脇、八木統括官に心から感謝の言葉を申し述べると共に、この講習会をお膳立てして下さった西多摩青申会医師会支部長中村 武先生に厚くお礼申し上げます。

(文責 大嶽栄二)



◎資料（医業収入の区分）

事業収入			給与収入	雑所得
社会保険診療収入	自由診療収入	雑収入		
1. 被用者保険 (1) 健康保険 イ. 組保管掌 ロ. 政府管掌 (2) 船員保険 (3) 日雇労働者健康保険 (4) 各種共済組合 イ. 国家公務員共済組合 ロ. 地方公務員共済組合 ハ. 私立学校教職員共済組合 ニ. 公共企業体職員等共済組合 ホ. 農林漁業団体職員共済組合 (5) 自衛官等保険 2. 国民健康保険 （一般国保、組国保） 3. 医療費公費負担 (1) 生活保護法 (2) 結核予防法 (3) 精神衛生法 (4) 戦病者特別援護法 (5) 身体障害者福祉法 (6) 児童福祉法 (7) 母子保険法 (8) 麻薬取締法 (9) 原爆被爆者医療法 (10) 老人福祉法 老人医療費支給制度	保険制限外 1.(1) 自費診療報酬 (2) 室料差額報酬 (3) 美容整形報酬 (4) 正常妊娠助産報酬 (5) 優正手術報酬 (6) 通常近眼手術報酬 (7) 保険外歯科補てつ報酬 (8) 健康診断料報酬 （人間ドック） (9) 予防接種料 (10) 医療相談料 (11) 診断書作成料 2.(1) 労働者災害補償保険法 (2) 国家公務員災害補償法 (3) 公害健康被害補償法 3. 契約地域外の国保診療収入 また保険医以外の診療 4. 保険証を持参しない場合の 診療 5. 自動車損害賠償責任保険 （保険を適用しないもの）	1. 公費負担医療（老人医療、難病 特定疾患医療など）の事務取扱手 数料、利子補給金 2. 貸与寝具、補助器具、テレビ、 洗たく機代等 3. 医薬品の仕入りベート（仕入割 戻し） 4. 患者紹介料 5. 患者からの謝礼、贈答で社会通 念に比べて相当額以上のもの 6. 従業員及び患者付添人の食事代 7. 赤電話、自動販売機手数料 8. 治療器具、材料等の販売収入 9. 従業員等からの宿舍費、共益費 10. 職員慰安旅行の補助金 11. レントゲン等医療機器の購入に 伴って景品として受ける金品 12. 診療付随収入 (1) 休日診療手数料（自宅診療の 場合） (2) 救急医療機関謝礼金（手当金） 13. ベット差額	1. 休日、夜間診療 手当（地方自治体 等が設置した施設 で診療する場合） 2. 学校医、嘱託医 の手当（ただし、 委任契約に基づく 場合は事業所得） 3. 委員手当 4. 保健所等におけ る成人病検診等 （ただし、委任契 約に基づく場合は 事業所得）	1. 講演料 2. 原稿料

文芸

じ 主 日 記

堤 次 雄

1月18日

うっ陶しいのが7年ぶりに頭をもたげてきた。誘因。さっぱりわからん。
会陰にひりひりと擦される感じがして不快である。絹か、洗い晒しのガーゼで作ったパンツをはきたいと思う。持ちあわせが無いのでパンツとズボンをずり下げて我慢する。
多少はましと思うが、不快さに変りはない。憂うつ雲が忽然と消え、日本晴といきたいものだ。

1月24日

まだ、擦される感じがして気になる。
中学のクラス会に3年ぶりに出席する。新橋の小料理屋に行った。飲む方はビールをコップ3杯までと決心していた。
去年の11月に山上が、12月に麻野が亡くなっている。続けて2人の他界に幹事が、互いの健康を確めるべく急ぎ、クラス会の呼びかけをしたのだった。
集った者が10人。皆、定年をとうに過ぎ殆どが第二の人生を歩んでいた。
山上とは10年前に一度会っている。出版業の彼は「医療と経済」という冊子を送ってくれた。

麻野とは過去2回会っているが、仲間では一番若々しくみえてダンディだった。両君とも穏やかない男だった。冥福を祈る。
もうこの仲間から当分、彼岸へ旅立つ者がでないことを願うばかりである。
酒がまわると皆よく喋べる。いつも精力自慢をする愉快的な男、関川が寺の住職、渡辺に「おい、住職、俺が死んだら戒名代はただにしろよ。」「わかった。特別に諸君は戒名代はただにする。関川は、放蕩院艶福絶倫居士。でどうか。」と住職が返して大笑いとなった。されば、わたしは何だろう。弱肛院痔疾浞面居士。くらいだと思う。
また飲んでしまった。いつもながら我が決心は鴻毛よりも軽い。口が卑しいというか、意

志が弱いというべきか、まこと情けない男だと自嘲する。

2月3日

座ると痛む「じ」が長持ちしそうな気がする。参ったな。夜間当直のためセンターに行く。患者は8名。暇な時は診察台に横たわり、文庫本を読んでいた。寝ているのが一番楽である。診察台を二つ並べ、一方にわたしが、他方に患者を寝せて診察すれば楽だろう。と考える。老人や子供は可としよう。だが妙齢や年増の女性だとどうか。何やら桃色の雰囲気に見えるかな。これはいかん。と、また考えこむ。

こんな突飛で馬鹿げた発想が、なぜ出てくるのか、痔因性奇想症。とでもいうのだろう。わたしの場合、「じ」は脳にも影響してきていると思う。

2月16日

12日の日曜日は寒かった。少し痛いのにゴルフに行ったのは大失敗であった。終りの2ボールくらいから、痛みが強くなってきた。終ると直ぐ風呂に入って、揉んだり、さすったりで機嫌をとったが無効であった。かくなる上はと、酒は当分、止めることにした。今日で断酒5日目となる。長年の習慣から晩酌なしの夕飯は、凡そ間がぬけて味気ない。思えば30餘年、毎日かかさず晩酌していたのに、こんなつまらん事で飲酒の歴史に空白を作ってしまう残念の極み。深く落ちこむ。

妻は「一病息災というじゃない。でもこの頃いつも不景気づらしているわね」と笑った。わたしは「その通り」と頷いたが、後になって腹が立ってきた。人の苦痛もわからずに笑うとはなんだ。じ主が景気のいい顔などできるか。「うつ」の顔しかないのだ。ぶつぶつ言いながら睡眠剤をのんで早く寝た。

3月4日

重い感じは少なくなったが、長く座ると痛い。頻尿の傾向にもなってきた。

「局部が見えないのに自分で主じ医はだめよ、ほかの先生に主じ医になっていただいたら。」と妻は言う。これは正論と思う。

ある偉い方は、「私なりに、ねばり強く、忍耐つようく」と口癖のように言われる。わたしは、それに便乗したわけではなかったが、たまたま、「わたしなりに、何とかなるわな」となってしまったのだ。阿呆の論である。

妻が「円座を便えば楽だと思う。」と言って、ドーナツ形の布袋を作り、娘が子供の時に使っていた枕をもってきた。

枕の中身のパンヤを布袋に移しかえて円座を作るのだが、埃がでるからと庭で作業する。わたしも手伝った。

庭の隅の日溜まりに、初老の夫婦がしゃが

み、夫が円座の口をひろげて、妻が古枕のパンヤを円座の口に押しこんでいる。

柔かい風が吹いた。風のためにパンヤの屑が、地面を少し走っては舞っていた。この景を見て、感じる人は「あゝ、人生落日」と目を伏せるだろう。

妻は、わたしのことを心配してくれているのだなあ。とその時なぜか思った。感傷的になった。妻とは30数年、ともに暮してきたが、こんな気持になったことは今まで一度もなかった。

いったい、これはどうしたことだ。

一口で言やあ、おれが弱くなった。老いはれたってことよ。

卯月雑詠

小泉新策

早起きし 戸外に出れば 大空は
澄みて 明るく 燕飛び居り

朝露を 沓めば 繁げみに 隠れ咲く
数多花あり 笑みて 迎うる

苧環に 延齡草に 鈴蘭に
賽積草に 雁生門かずらなど

可憐なる 花つけ居れば 畔道のおく
草採る 手にも そつとしておく

朝刊を 開けば リクルート 関連十三名
知名の 政治家 面つらねあり

政界は 将に 難局を 迎えたり
首相の 支持率 七%とは

放縦の 政治資金の 蒐集に
世相は 歪み 不感症とはなれる

竹藪に 億を越えたる 捨て札あり
金銭 感覚 麻痺の 世相か

民生の 安楽願ひ 為す政治
斯く 暴走してはと 頭抱える

ブロックだより

瑞穂町医師会

瑞穂町町長選の公示を前にして静かな前哨戦の続いている4月6日(木)、平成元年度第1回の瑞穂町医師会が開催された。本年4月1日より新規開院し、瑞穂町医師会入会予定の丸野医院(丸野仁久先生)、箱根ヶ崎眼科(奥野幸雄先生、広子先生ご夫妻)にもご出席いただき、会員への紹介が行われた。吾瑞穂町においても若い元気な先生方が次々開院され医師会の活性化と共に地域医療活動の幅が広がるというか、内容の充実が期待される。医師会の旅行にしても、ここのところ低調となっているが、今年からは、張切って

企画出来るというところか?但し、医師夫妻が増えてくると、おのづと真面目くさった集団旅行となること請け合いです。だが、楽しみなことに変わりはない。会の席上次期(今年度)の瑞穂町医師会長及び会計の選出が話し合わせ、会長に大嶽栄二、会計に小林康夫先生を指名した。

会はMMRWクチン。学校健診。税金。家族のこと等について話し合われた。瑞穂町医師会には高水武夫先生、内野正作先生、栗原三省先生と長老の先生方が健在であり、色々ご指導をいただきながら、又会員の先生方の協力をいただき、2年間会長を務めさせていただきたいと考えている。

大嶽 栄二

—— 羽村医会に病院検討委員会が発足 ——

昨年度後半より羽村町に公的病院設立の運動が再燃しているが、これに対し羽村医会にも今後医会としてあるべき病院のビジョンを作ろうとする3月14日の臨時総会で検討委員

会が発足した。又、4月11日の定例総会で無記名投票による選挙により会長に東、副会長に真鍋が選出された。構成メンバーは、東、松田、尾形、山田、稲垣、松原、村山、真鍋。

アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨンアイウエオカキクケコサシスセソ

同好会だより

西医ゴルフ大会

平成元年3月21日
東京バーディクラブ

今回は参加希望者が多く、やむを得ずお断りした先生もお申しわけございませんでした。小生も出られませんでした。その辺をお汲みとり頂いて、悪しからず御了承下さい。

また、ゴルフ場を確保するにあたり、後藤先生をはじめ、市原先生、宮川先生には大変御骨折り頂きまして有難うございました。

(足立)



	I	O	G	HD	N	
杉本	44	48	92	18	74	優勝
内山	43	47	90	16	74	準優勝
玉木	56	48	104	28	76	3
葉山	46	49	95	18	77	4
市原	49	47	96	19	77	5
大嶽(栄)	43	46	89	12	77	6
横田	50	48	98	21	77	7
鈴木	47	45	92	14	78	8
松原	52	44	96	18	78	9
池田(久)	52	55	107	28	79	10
宮川	46	43	89	10	79	11
黒田	59	51	110	30	80	12
小林	59	51	110	30	80	13
大嶽(繁)	53	50	103	22	81	14
後藤	46	49	95	13	82	15
工藤	50	54	104	17	87	16
大堀	55	61	117	28	89	17
笹本	48	58	106	16	90	18
池田(聖)	64	67	131	34	97	B. B.
野村	82	81	163	30	133	20

講演会のお知らせ

産婦人科医が学校保健にアプローチ

特別講演 思春期の子どもたち

講師 江幡玲子先生 思春期問題研究所長

日時 6月17日(第三土曜日)午後1時半～4時

場所 西多摩医師会講堂

主催 西多摩産婦人科医会・学校医部

協賛 西多摩学校保健連絡協議会

後援 萬有製薬株式会社多摩第二課

あとがき・講演『思春期の子どもたち』について

この会報が眼に触れる頃、ゴールデン=ウィークも終わった立夏の候と思います。先月はじめ産婦人科医会(正式名称東京母性保護医協会西多摩支部)の総会があり、その中で最近深刻極まりない少年少女の性的問題を考える講演会を是非とも夏休みまえにと決めました。西多摩医師会の理事会に提案して、学校医部長のOKをとり別掲のお知らせを企画しました。西多摩医師会の積極的な学校保健に対する方針のなかで、今迄一番縁遠い存在と思われる産婦人科医達のこの計画は、まさに快挙と判断しても良いのではないかと思います。講師にお願いしました江幡先生は、思春期保健学の第一人者で家庭内暴力・10代の屈折・拒む心=求める心・松本清一、安藤弘編集思春期保健学の分担執筆などの著書もあり、先生の社会的側面から捉えた思春期問題解析は、

関心をもつ多くの方々に参考となるものと思います。教育の現場で第一線にたつ養護の先生、生活指導の先生、校長先生、教頭先生、PTAの皆様、いじめ・校内暴力・非行・喫煙・若年妊娠・男女交際・避妊などなど頭の痛む心碎ける毎日でしょう。講演が終ってから講師を交えての話し合いも予定して居ります。私達産婦人科医のキャップ・近藤肇先生は、講師紹介かたがたアメリカのエイズと少年少女たちという短い講話を準備されました。末筆ながら深いご理解を頂きました西多摩医師会長西村邦康先生、学校医部長湯川文朗先生はじめ執行部の各先生に感謝申し上げます。

西部地区 新町中学校校医 鈴木 穆
南部地区 秋川西中学校校医 秋山静夫
東部地区 福生第六小学校校医 道又正達

文責 みちまた

平成元年5月1日発行

発行所 (社)西多摩医師会

東京都青梅市西分3-103

TEL (0428)23-2171(代)

会報編集委員 大嶽栄二

石井好明 栗原琢磨 小林杏一
真鍋 勉 道又正達 百瀬眞一郎
横田 博 渡辺良友

印刷所 マスタ印刷 TEL (0428)22-3047

くらしの知恵と情報を

ホームバンクの埼玉銀行



埼玉銀行

青梅支店 (TEL 0428-22-1101)

東青梅支店 (TEL 0428-22-2121)

青梅支店
奥多摩特別出張所 (TEL 0428-83-2515)

福生支店 (TEL 0425-51-1021)

村山支店 (TEL 0425-61-1211)

五日市支店 (TEL 0425-95-1311)

河辺支店 (TEL 0428-24-2401)

秋川支店 (TEL 0425-58-2611)

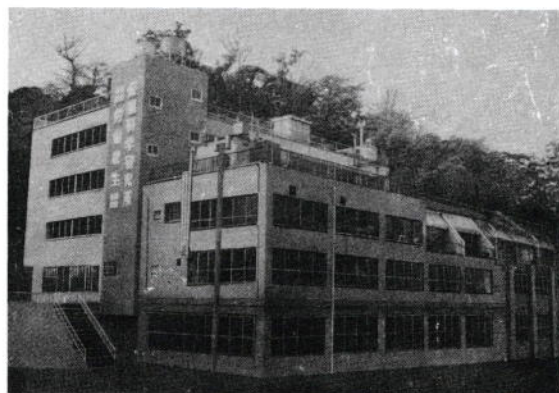
臨床検査センターの雄 保健科学研究所

横浜市保土ヶ谷区神戸町106

電話 045 (333) 1661 (大代表)

八王子市子安町3-17

電話 0426 (26) 2203・2204



○総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。

○完全オンラインシステム化を実現致しました。(データー通信システム)

○関係医療機関 約 3,500ヶ所

○広範囲な検査内容

●内分秘学検査●免疫学検査●ウイルス検査●生化学検査●血清学検査●血液学検査

●病理組織検査●細胞診検査●重金属検査●水質検査

！都川県の御得意先を毎日定期的に集配致します。御一報を御待ち致しています。